

News Release

2010年1月4日

報道関係各位

NECネットエスアイ株式会社

2010年社長年頭訓示要旨について

NECネットエスアイでは、本日、社長の山本正彦が、社員に向けて2010年の年頭訓示を行いました。要旨は以下のとおりです。

<2010年年頭訓示要旨>

【市場変化が顕在化する中、「進化」と「新化」で 国内No. 1のネットワークSIerを目指そう】

2009年は事業環境が大きく変化した一年であった。世界不況が継続する一方で、日本国内では政権が交代し、NECグループでは経営構造改革が進められた。このような中、当社は経営改革活動が進展するなどの成果をあげたものの、まだそのスピードが不十分であり、厳しい事業環境の影響を受け上期業績が減収減益となってしまった。

2010年についても、新興国を中心にした世界経済の回復基調は見込まれるが、国内における主要産業の投資は依然厳しい状態が継続するものと覚悟せざるを得ない。その中で、ICT市場は、その変化が一層顕在化してくると見込まれ、クラウドという言葉に代表されるように、企業や通信事業者の投資はハードやインフラからサービスへと重点が移ることが予想される。また、環境/エネルギーやBCPといった今後の成長分野はまだ種まきの時期であろう。

このような中、今年は「進化」と「新化」をキーワードに事業を遂行していきたい。当社の強みであるインフラ事業については、プロセス改革や標準化により、効率化と品質のさらなる向上を進めるといった事業の「進化」が必要である。一方で、成長を目指すためには、来るべきクラウド時代に向けた新たなサービス事業の拡大という「新化」も求められる。これら双方を実現するために重要なのが経営改革活動であり、ボトムアップの改善活動とトップダウンのマネジメント改革との融合を図り、さらに経営改革を加速させていこう。

年初にあたり、環境が厳しいからこそ、健康に留意し、明るい前向きな気持ちで業務に取り組んでいこうではないか。そうすることで、まさに虎の様に猛々しく飛躍する2010年を作り上げよう。

私たちNECグループは、
「人と地球にやさしい情報社会をイノベーションで実現する
グローバルリーディングカンパニー」を目指しています。

<本件に関する報道関係からの問い合わせ先>

NECネットエスアイ 企画部コーポレートコミュニケーション室
電話 (03)5463-7700(直通)